


## ティーチング・ポートフォリオ兼教員プロフィール

	<p>保育科 教授</p> <p>野 中 弘 敏 (のなか ひろとし)</p> <p>NONAKA Hirotoshi</p>
所属	保 育 科
学位	修士 (教育学) (東京大学)
資格・免許	臨床心理士 (登録番号: 第 7072 号) 精神保健福祉士 (登録番号: 第 08740 号) 公認心理師 (登録番号: 第 490 号)
学歴・職歴	<p>&lt;学歴&gt;</p> <p>1993年3月 東京大学教育学部教育心理学科 卒業</p> <p>1995年3月 東京大学大学院教育学研究科教育心理学専攻修士課程 修了</p> <p>2001年3月 東京大学大学院教育学研究科総合教育科学専攻 教育心理学コース博士課程 単位取得後退学</p> <p>&lt;職歴&gt;</p> <p>1993年4月 武蔵大学学生相談室 非常勤インターカー (1997年3月まで)</p> <p>1994年2月 メンタルサービスセンター 非常勤訪問カウンセラー (1998年3月まで)</p> <p>1994年2月 杉並区教育委員会登校拒否巡回相談事業 非常勤指導員 (1998年3月まで)</p> <p>1995年4月 新宿区牛込保健センター精神障害者社会復帰促進事業 (デイケア) 非常勤グループワーカー (2000年3月まで)</p> <p>1997年1月 医療法人社団草思会押上ハウス (精神障害者グループホーム) 世話人 (2003年6月まで)</p> <p>1998年4月 駒澤大学総合教育研究部教職課程部門 兼任講師 (現在に至る)</p> <p>2000年4月 東京都多摩総合精神保健福祉センター思春期特定相談事業 非常勤相談員 (2002年3月まで)</p> <p>2000年4月 東京電機大学工学部人間科学系列 兼任講師 (2003年3月まで)</p> <p>2000年5月 東京電機大学工学部学生相談室 非常勤相談員 (2010年3月まで)</p> <p>2002年4月 医療法人社団草思会錦糸町クボタクリニック 非常勤心理職 (2003年5月まで)</p> <p>2003年4月 芝浦工業大学工学部教職課程 兼任講師 (2003年7月まで)</p> <p>2004年2月 山梨学院短期大学専攻科食物栄養専攻 兼任講師 (2004年3月まで)</p> <p>2004年4月 山梨学院短期大学保育科 講師 (2005年3月まで)</p> <p>2004年4月 山梨学院短期大学専攻科保育専攻 兼担講師 (現在に至る)</p> <p>2004年4月 東京電機大学工学部人間科学系列 兼任講師 (2006年3月まで)</p> <p>2005年4月 山梨学院短期大学保育科 助教授 (2007年3月まで)</p> <p>2007年4月 山梨学院短期大学保育科 准教授 (制度改正による職名変更) (2015年3月まで)</p> <p>2010年4月 山梨学院大学健康栄養学部管理栄養学科 兼任講師 (現在に至る)</p> <p>2015年4月 山梨学院短期大学保育科 教授 (現在に至る)</p> <p>2017年4月 山梨学院短期大学 専攻科保育専攻科長 (現在に至る)</p> <p>2020年4月 山梨学院短期大学 学生部長 (現在に至る)</p>

担当科目	教育相談の基礎 臨床心理学 こころの科学 子ども家庭支援の心理学 基礎演習 卒業演習Ⅰ・Ⅱ (以上、本科) 教育相談 臨床心理学特論 家庭問題特論Ⅰ・Ⅱ 現場研修Ⅰ (以上、保育専攻) カウンセリング演習 ピアサポート論 (以上、山梨学院大学) 総合演習Ⅲ (以上、駒澤大学)	
専門分野	臨床心理学	
現在の研究テーマ	こころの健康と笑い・ユーモア マンガ・アニメにみる心理 観光の心理	
競争的資金等の研究課題	争いはたいてい共に生き延びる力を削ぐ営みなので、できれば極力避けたいものです。個人的には。	
所属学会	日本心理臨床学会 日本人間性心理学会 日本保育学会 日本教育心理学会 International Society for Humor Studies 日本学生相談学会	
メッセージ	対人援助職で重視される「他者理解」のために、自分と異なる背景や状況、好みや考えをもつ他者への想像力や、豊かに想像するための諸知識も大切ですが、どうやら「他者への眼差し」の濃やかさは「自分への眼差し」のそれとも相関するようです。短大生活での経験や出会いが、自他への眼差しを深める糧となりますように。	
教育		
2021年4月～2022年3月		
教育方針	お互い、他者と自身に細やかな眼差しを向けられる人をめざしませんか。 なるべく「勝手に学んでしまう人」になれますように。	
授業	授業の工夫	<p>&lt;教育相談&gt; 各自が自らの関心に即した児童・保護者・教師の心理的課題やその解決のための実践に関わる論文を選んでレジュメ化し、報告・討議する形式で進めた。報告に対する口頭またはコメント用紙によるリプライは全員で共有し、さらなる問いを深められるよう努めた。</p> <p>&lt;臨床心理学&gt; 日常場面で生かせるカウンセリング・マインドおよび基本的スキルの習得を目標とした演習と、ピアヘルパー資格試験への対策を念頭に置いた講義の双方を行った。前者では、グループカウンセリングの一方法である構成的グループエンカウンターの実験的学習など実践的な演習形態を取り入れた。</p> <p>&lt;こころの科学&gt; 映画作品の視聴を通じて、登場人物の時系列的行動と対人関係の様相、それらの心理的背景について考察を求めるとともに、臨床心理学的観点からの同時解説を行った。</p> <p>&lt;家庭問題特論Ⅱ&gt; 「家族」を主題とした映画作品を視聴して、登場人物の時系列的行動と家族関係の様相、それらの心理的背景について各自の考察を求めたのち、視聴を通じて見出された家族・家庭を取り巻く現代的問題についてグループ討議を重ね、その成果をシンポジウム形式で発表することにより問題意識と解決への手がかりを考察する形態を取り入れた。</p>
	授業改善のための取組	昨年度来の新型コロナウイルスの影響により、所属学会等における大会・ワークショップへの参加は困難であったが、担当科目において取り上げられるべき今日の問題やそれらへのアプローチのあり方について、書籍やWebを情報源として日々研鑽を深めるよう努めている。

教育 (つづき)		
2021年4月～2022年3月 (つづき)		
ゼミ	ゼミ活動 (卒業演習) (修了研究)	ゼミ学生個々の関心を極力丁寧に掘り起こしつつ、妥当な量的・質的研究の方法を示唆し、実証的な考察を深められるよう心がけて指導した。
	卒業レポート・ 修了研究テーマ	<p>&lt;卒業レポートテーマ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てに関する言い伝えの認知度と影響について</li> <li>・出生順位による性格特性の差異 <ul style="list-style-type: none"> <li>－本人や保護者、きょうだいからの評価を元に－</li> </ul> </li> <li>・障害を持つ兄弟姉妹がいる人の心理状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>－インタビューを通して取り巻く環境を考える－</li> </ul> </li> <li>・東京ディズニーランド・ディズニーシーはなぜ人々に愛され続けているのか <ul style="list-style-type: none"> <li>－ディズニー映画を含めて－</li> </ul> </li> <li>・ダウン症の子を持つ親の想い <ul style="list-style-type: none"> <li>－インタビューを通して－</li> </ul> </li> <li>・きょうだい・姉妹関係の仲の良さ・仲たがい <ul style="list-style-type: none"> <li>－親族・友人へのアンケートを通して－</li> </ul> </li> <li>・人格形成を通して見えてくる保育や環境 <ul style="list-style-type: none"> <li>－保育現場での実態も交えて－</li> </ul> </li> <li>・恋愛について、男女の恋愛観 <ul style="list-style-type: none"> <li>－青年期の恋愛について、男女の恋愛観、魅力と関係、満足度、浮気－</li> </ul> </li> <li>・「好きな色」はどのように選ばれるのか <ul style="list-style-type: none"> <li>－先行研究にみる色彩嗜好と性格の相関－</li> </ul> </li> <li>・インクルーシブ保育のあり方と課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>－実習生の視点から垣間見えるインクルーシブ－</li> </ul> </li> <li>・子どもを主体とする保育 <ul style="list-style-type: none"> <li>－保育所実習における体験を踏まえて－</li> </ul> </li> <li>・自己肯定感のあげ方 <ul style="list-style-type: none"> <li>－保育者としての関わり、子供の自己肯定感の大切さ－</li> </ul> </li> <li>・音楽のちから <ul style="list-style-type: none"> <li>－歌詞から得られるもの－</li> </ul> </li> <li>・世代格差を踏まえた LGBT への理解 <ul style="list-style-type: none"> <li>－当事者の思い－</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;修了研究テーマ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心理的居場所感と自己肯定感との関係について</li> <li>・コロナ禍における HSP の生きづらさについて</li> </ul>
課外活動	Tier Kreis・児童文化研究会顧問 手話ボランティアサークル顧問 昨年度来の新型コロナウイルスの影響により、学生による課外活動は引き続き困難を伴う場合が多かったが、学内外で着ぐるみパフォーマンス・人形劇・手話の研鑽を行うサークルに対し、コーチと協働して主に会計処理など事務処理面の支援と心理的支援を行った。	

教育 (つづき)		
2021年3月以前		
主な教育業績	2021年2月	専攻科ゼミ学生が、全国保育士養成協議会関東ブロック協議会主催「第34回学生研究発表会」(Webによる開催)において修了研究の成果を口頭発表した。
	2016年2月	専攻科ゼミ学生が、全国保育士養成協議会関東ブロック協議会主催「第29回学生研究発表会」において修了研究の成果を口頭発表した。
	2014年2月	保育科ゼミ学生2名が共同で、全国保育士養成協議会関東ブロック協議会主催「第27回学生研究発表会」において卒業レポートの成果を口頭発表した。
	2009年2月	保育科ゼミ学生が、全国保育士養成協議会関東ブロック協議会主催「第22回学生研究発表会」において卒業レポートの成果を口頭発表した。
	2008年2月	保育科ゼミ学生が、全国保育士養成協議会関東ブロック協議会主催「第21回学生研究発表会」において卒業レポートの成果を口頭発表した。
	2006年2月	保育科ゼミ学生が、全国保育士養成協議会関東ブロック協議会主催「第19回学生研究発表会」において卒業レポートの成果を口頭発表した。
研究		
2021年4月～2022年3月		
タイトル(単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
該当なし		
2021年3月以前(主なもの)		
タイトル(単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(著書) 子ども臨床とカウンセリング (共著)	2013年9月	みらい
(著書) 教育相談—子どもの理解とカウンセリング (共著)	2012年3月	大学図書出版

社会貢献
産官学連携、高大連携、研修会講師、学外委員会活動、学会活動、講演会、等
2021年4月～2022年3月
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本臨床心理士会 会員（1999年～現在に至る）</li> <li>・日本精神保健福祉士協会 会員（2001年～現在に至る）</li> <li>・東京公認心理師協会 会員（2006年～現在に至る）</li> <li>・日本私立短期大学協会学生生活委員会 委員（2016年～現在に至る）</li> <li>・私学研修福祉会 私立短大学生生活指導担当者研修会 運営委員 （2016、2017、2018、2019、2021年度）</li> <li>・山梨学院大学・山梨学院短期大学 高大連携プログラム 講師 （年2～3回）（2016、2017、2018、2019、2020、2021年度）</li> <li>・山梨県立笛吹高等学校 学校評議員（2020年～現在に至る）</li> </ul>
2021年3月以前（主なもの）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国保健・医療・福祉心理職能協会 役員（HP担当）（2004年～2019年5月）</li> <li>・FM甲府 生涯学習の時間 講師（2005、2012年）</li> <li>・山梨学院短期大学 教員免許状更新講習・免許法認定講習 講師 （2008、2011、2017、2018年度）</li> <li>・山梨学院大学 教員免許状更新講習 講師（2009、2016、2017、2018年度）</li> <li>・山梨学院生涯学習センター 調査協力員（2012年～2019年）</li> <li>・YBS（山梨放送） YGU山梨学院大学ラジオセミナー 講師（2013、2015、2017年）</li> <li>・山梨県中央児童相談所 メンタルフレンド研修会 講師（2014、2015年度）</li> </ul>
受賞 ※個人、所属団体
該当なし